

岨である、而して國と其の産業は尙ほ戦争の蔭影内に横つてゐる、獨逸の状態は尙戦時の變體を顯はしてゐるのである。「戦前は、これはかうであつた」とは屢々聞く詞であるが此の知らず知らずの會話中に獨逸の状態が表はれてゐる。

現状は未だ獨逸及其の諸工業に取つては平和時とは云へない、然れども昨年に比すれば餘程好化し其の改善程度は肉眼に映ずる程である、而して不斷の勉勵努力と質素儉約とを忘れずば國は年を追うて善化し行くであらう。獨逸の状態斯くの如きものあるは誠に幸である、何となれば獨逸の繁榮は世界の繁榮を意味するからである。(完)

## 賃銀を減すべきか否多く働かすべきか

(マクスウェル、ドロウク氏述 二年二月)  
Industrial Management

二三週間前の事であつたが合衆國東部の或る製造業者は生産高を一〇パーセント丈に減少せなければならなくなつた、之れは主として次の三要件に基いたもので、一、需要の弛緩、二、原料品買入の困難、三、輸送の不如意である。

其處で此會社は慣例の處置として減首を行つた、其れには給料支拂簿を仔細に點檢して、十人に一人の割合に罷めさせて豫定の減員を遂行した。然し之れで理論通りの結果を得る譯に行かなかつた、其の實際は一〇パーセント減員して操業したにも拘らず生産高は却て一八パーセント増加したのである、會社は再度使用人の節約をしたが、猶生産高を著しく減少する事が出来ない、而して終に生産高を一〇パーセント丈

け減少させたが其には三〇パーセントの減員を行はねばならなかつたのである。

此れは何うした譯であるか。我々は之れから唯一の斷案を得るのである。實際勞働者は「一日分の支拂に對して一日分の働き」と云ふ事を尊重する様になつたからだ、勞働者は、彼の仲間が各方面から追ひ放たれて行くのを見ると、痛切に感じて所定の時間は決して仕事以外に費してはならないと思ふ。今は最う骨惜みして居るべき時代ではない。勞働者も最早暢氣に過ごして行かうとは考へてゐない。まごまごしてゐては不安だから忙がしく生産に従事する様になるのである。

最近異常な繁榮期に際して、勞働者と親密に觸接してゐた吏員で相當思慮ある人は何れも認めてゐた事であるが、當事渾沌たる状態は國中に瀰漫してゐたのである。多くの例に見るに勞働者は技倆の如何に拘らず何れも少し働いて多く貧つてゐた、而して誰も失業の事等は餘り心配しなかつた、勞働者の數より仕事の方が多かつたからである。

二三箇月前の事であるが或る大きな請負師が打明けた話に依ると彼は實に絶望の地位に立つてゐる様である、彼の言ふには賃銀が理由なしに高いものだから一般の人は家を建てる事が出来ない。勞働者は法外の賃銀を要求獲得してゐる計りでなく賃銀に報ゆる丈働かないのである。二三年前には煉瓦職人に或る金額を支拂へば毎日一定の煉瓦を積んで呉れるに極つてゐたが、今や賃銀は當時の二倍以上に上つてゐるが多くの働いたと云つても以前の半分しか積んで呉れない。之れが請負師の歎聲である。

然しながら勞働状態は振子が極めて正確に振る様に、左へ

振つて行けば必ず或る時間の後には右へ戻つて来るものである。労働振子に於ても假令今は順當な状態に歸つて居らぬにしても、少くも其の状態に向つてゐると云ふ事實は大層明かである。前に掲げた製造業者の経験は實に適例であつた。けれども最近私の注意を惹いたのは決して之のみではない。昨日晝飯にインデアナ家具製造會社の書記と一緒に居たが此の時の話題は實に此の問題であつて其れて私は次の事柄を書記の話を依つて聞知した、即ち彼の會社は今迄は只生産力の減少を恐れて専ら努力して來たが、今では椅子を作り過ぎる状態であるから、最近止むなく製産率を制限せなければならなくなつた。製産物の直接販路が無いから今は一週に四日間丈の仕事することにしてゐる。斯うして約三週間も續けてゐるが茲に信じられない様な事實がある。其れは會社で四日間に製造する椅子の数は、以前に一週間通して製造したよりも多數に上つてゐると云ふ事である。扱て製産の立場から見れば會社は賣れるよりも多く椅子を作つてゐるのは事實であるが會社では其れが爲めに餘り心配してはゐない。何となれば現在家具の不景氣なのは大いに人工が加つてゐる。家具に對しては可なり堅實な需要が有るのであるが、會社の取引者は在庫品を殆んど持つてゐないで謂はば右から左の商賣をやつてゐる。其れは彼等が市價の低落を見込んでゐるのである。扱て此の會社の労働者が今の傾向を續けて行つて能率の増加を計るならば會社は假令現在の賃銀率を著しく下げずとも價格を引下げることが出来る。而して労働者は明かに此の傾向を續けて行かうとしてゐる。

斯う成つて來れば小賣商は満足して買氣分に煽られて來るに違ひない、勿論註文が殺倒して來る様な事は無いとしても市場は刺戟されて會社の持餘せる小許の在庫品は直ちに捌けてしまふ。そうなれば工場は作業時間中現在の全能力を運轉する事が出来るのである。

右の話は各方面の數ある生産業者が私に示してゐる労働状態の標本的實情と見て可い。而して製産業者等は製産が増加して來て、常態の標準價格が回復する日を待つてゐるのである。一般の消費者は労働賃銀が仕上げ品の價格に及ぼす大影響をば餘り念頭に置いてゐない。此の事は最近各種の商品の價格低減表で明かに分かる。例へば羊毛の價格は非常に低落してゐるが其の仕上げ品たる布類には比較的微々たる影響を及ぼしてゐるに過ぎない。之れを見て消費者は當然其の理由を知りたがる。そこで労働賃銀の高價な事が現状の原因であると云ふ事を聞かされる。すると早合點して労働者は儲け過ぎると思ひ込んでしまふ。今や労働者は贅澤な生活をしてゐると云ふ聲が高いのである、世間では労働賃銀は早晩減少されるものと豫言してゐる。

或る事業界に於ては、先例のない需要や他の事實のために人工的に賃銀率が刺戟されたのは疑を容れない所であるが、早晩或る調整が行はれるに決つてゐる。然し茲に見通してならぬ事實は商品の價格は詮じ詰めれば生産高又は生産原價に依つて支配されるものであつて、賃銀率に關係するものでない。賃銀よりも寧ろ生産高の方が價格に影響する所大きいのである。或る工場で例へば二〇パーセントの勞銀引下げは結構な變化だらうと云ふが、其れは事實に違ひない、然し生産

高二〇パーセント増加は凡ての關係者から見ても其れ以上に結構な事では無いか。理論的に云へば勞銀が二〇パーセント減少すれば生産費は其れ丈け減少した事になるが、不幸にして勞働者を扱ふ事は理論通りに行かないのである。我々は人爲的要素に依頼せぬ譯に行かない多分將來に於ても其の通りであらう此の事は事實であるが多くの場合に不滿な勞働者は一日の中で可成時間を殺滅してしまつて賃銀低減の代償とするので、今賃銀を低減したからと云つて其の結果は寧ろ不利であつて何物をも得られないのである。勞銀の低減は猶危險を伴ふものであつて、其れが社會一般でない時には、優良な勞働者即ち眞の生産者は不滿に思つて他の所に口を求め、人間の特性として、勞働者は自分の賃銀が低減され相になると其賃銀が法外に騰貴してゐても之に抵抗する。勞働者は斯る抑壓に服従するよりも寧ろ出て行つて賃銀は安くとも他の仕事に従事するかも知れない。然らば最も有效なる方法は何んであるか？多くの大企業家に依つて認められた通り全能力を生産に注ぐ事である。目下の趨勢は全く生産して生産費を低下せしめんとするものである。

オハイオ州の或る大ロール工場の支配人が先週語つてゐた所に依ると、彼の工場は現在使用人の生産高の記録を取つてゐる。之れには生産を加速して行くも同盟罷業をするも勞働者の考へ次第としてゐる。此の工場では賃銀を低下する事よりも寧ろ世間並の賃銀を支拂つて澤山な仕事をさせる様に注意してゐる。二三箇月前の事或る時勞働者は各自の仕事を選擇し始めた事があつた、仕事をするために出勤した職工が自分の好まないか或は其ために法外な賃銀を取られないやうな

仕事に廻されると働く事を拒む例は屢見る所である。時としては彼が望んでゐる仕事に變更して貰ふ迄引續き數日間も怠業をやる事があつた。今は最う斯る怠業はせぬ様になつたが會社のために着實に働かない者は最う我社の人ではない。其者は能く知つてゐる事だが會社は規則正しい勞働者には有らゆる優先扱をしてゐる。而して斯る勞働者に限つて何んな仕事たりとも手當り次第に仕て退けるやうである。彼等は自分の仕事を失ふまいと思つて働くものである。

此の最後の文章は現在の勞働者の状況を適切に約言してゐる。現在の勞働者は自分の仕事を守るために働くのである。彼等は傲慢な態度を持たないで「此の次には何を致しませうか」と云ふ態度を我々に示す。勞働者各自に充分の仕事があれば皆幾らか自恃の氣分になるのは當然の事であつた、そこで自恃の氣分につれて仕事の進歩に弛を生じ能率は一般に低下するに至つたのである。

然し我々は今上り阪に向つてゐる。勞働者は仕事で最一度認められねばならないと覺醒して來た。正直で勤勉な勞働者であつて本當に働かうと思つてゐる者には幾らでも良い仕事があつて、良い賃銀が得られるが怠惰者には只でも雇手が無い。工業には其種類は多いけれ共何れも其様である。

最近デトロイト自動車製造業に關係深い或紳士から聞かされた話であるが、或る低廉な自動車製造業者は數千の職工を解僱したが、彼等の中には一人として善良なる者は無かつた相である。彼等の中には着實な者は一人もなく、皆有らゆる種類のやくざものであつた。又彼等は未熟な職工であつたから自動車工場等に用はない。先づ第一其の權利がない彼等は世の

好況につれ何様な人間でも入用であつた時代に雇ひ入れられたのだ其れが今になれば最う要らなくなつて淘汰されてゆくのである。此自動車製造業者は當て推量をしてゐるのではない。彼は使用人に對しては可成り正確な知識を持つてゐる。而して何う云ふ職工を解備したかと云ふ事は充分知つてゐる。眞の労働者は自分の仕事に就て苦勞する様な事は無い筈である。

現今合衆國では労働過剰である、即ち有る仕事の数よりも人の數が多いと云ふ説があるが、此の事は或る方面には確かに信ぜられてゐる。數千の職工が解備されたと云ふ説は愈以上の事柄を力づける様に見える。然し眞の禍は寧ろ労働者が全國に適當に散布されてゐない事に存するのであつて、實際には合衆國で労働過剰な事はない。簡言すれば一箇の農園を有り餘る労働者が耕作してゐるのである。合衆國の或る種の工業は按分して受ける數以上の労働者を集めた。斯る工業者は今や集め立てた過大な勞力に食傷して其の結果此工業的食傷を治さうと焦つてゐる。解備された労働者は他の農園へ働きに行かねばならない。

勿論自動車製造業は適切な例である。過去二三年に於て小さい製作工場は數十も創立した。而して其等は殆んど資本の供給が不充分で其經營は極めて拙ないものであつて、其製品も亦優秀なものだとは言はれない。斯る工場は眞に創立の意義なく唯市場に於ける需要の強烈なに乗じたに過ぎない。茸の様に起つた會社は多く失敗してしまつて其他のものも殘存して行く望は殆んど無い。此等の場合に他の方面から此事業に入つて來た労働者は以前の職業に歸ることが出来る。機

械職に六ヶ月の經驗ある熟練職工が下級職工の地位を甘受するのは辛い事だらう。然し其れも國家のためだ。而して彼は「一日の賃銀に對して一日の働き」と云ふ教義を少しでも早く實行すれば彼の爲にも其れ丈け幸である。

此の生産増加の問題は自然の問題であつて、産業の改正時期の間に必ず來るべき現象であつて、一朝一夕に解決せらるべきものではない。此問題は其の範圍に於て實に國際的のもので世界に擴つてゐる。各國何處なるかを問はず凡そ労働者は、より以上働くと云ふ教義に改宗せなければならぬ。我々は加速度を以て努めてゐる。労働者は毎週受ける賃銀に對して價値ある働きを捧げんと努めてゐる。茲一二箇月經てばもつと著しい變化を示す事と思ふ。

此文を草してゐる時英國は國家的の炭坑罷業を始めかけてゐる。之れは文字通りの英國民對坑夫である。其の大なる論點は生産高にあつて、若し坑夫が生産高を本年一月の高に引戻すことを同意して呉れれば、之れは甚だ有理の要求らしいが、政府は充分な賞金を與へるのである。坑夫は固持してゐる。但し何の爲に固持してゐるかは殆んど分らない。或る合衆國の實業家がロンドンから歸つて、言つてゐるのには英國民は最後に於て無論勝を占めるだらう。何となれば彼等は一人も殘らず政府の後楯であつて、彼等は何れも此れ以上の生産せよと云ふ事を力説するものである。

生産増加は實に刻下の必要であつて然も大問題である。

(完)